

1 経営理念

**JAの総合力を発揮し
『地域に信頼され、必要とされるJA』を目指します。**

2 経営方針

基本ビジョン（中期経営計画）

<テーマ>

対話を通じた農業・地域・JAの未来づくり
～不断の自己改革によるさらなる進化～

<基本目標>

I 農業者の所得増大の実現

将来の担い手農業を見通し、担い手経営体への経営支援や次世代の担い手の育成支援を通じて計画的な農業振興に取り組むと共に、実需者ニーズに基づく農畜産物の生産・販売強化及びトータル生産コストの低減に取り組み、農業者の所得増大を実現します。

II 「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献

地域の食と農をつなぐ地産地消を促進するとともに、組合員との対話運動や「農業の応援団」の取り組みにより、食と農の仲間づくりと組合員との関係強化に取り組めます。また、「食」「農」「暮らし」「協同組合」にかかる情報を発信することで、「なくてはならない、必要とされるJA」への信頼と共感づくりに取り組めます。

III 自己改革を支える経営基盤強化

組合員が将来にわたってJAの事業を幅広くかつ継続的に利用できるよう、総合事業再編戦略、経済事業の収支改善及び中期要員計画に基づく要員管理に取り組めます。また、リスクを組織的に管理する「3つのディフェンスライン」を強化することで、自己改革を支える経営基盤強化に取り組めます。

3 経営管理体制

当JAは、農業者により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選出された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

組合の業務執行を行う理事には、組合員の各層の意思反映を行うため、青年部や女性部などから理事の登用を行っています。また、専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。